



2018・8・1

第 313 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000 万目標達成、安倍退陣の新たな運動へ

国会終了で安倍首相が記者会見

安倍首相は20日通常国会の終了にあたっての記者会見で、記者団の質問に答え、9条改憲について次のように述べました。

× × × ×

本日も3万人を超える自衛官の皆さんが今般の豪雨災害の被災地において行方不明者の捜索や、あるいは給水、入浴、そしてまたごみ処理などに、本当に懸命に当たってくれています。連日、猛暑が続く過酷な現場でも被災者の皆さんのために黙々と、献身的に任務を全うする自衛隊の諸君は正に国民の誇りだと思えます。

私は毎年、防衛大学校の卒業式に総理大臣として出席をし、そして、任官したばかりの若い自衛官たちから、事に臨んで危険を顧みず、責務の完遂に努め、もって国民の負託に応える。この重たい宣誓を総理大臣として、そして最高指揮官として受けま。彼らは国民を守るために命をかけます。

しかし、近年でも自衛隊は合憲と言い切る憲法学者は2割にしかありません。その結果、違憲論があることについての記述が

ほとんどの教科書に載っています。自衛隊の自衛官の子どもたちもその教科書で勉強しなければならないわけでありまして、この状況に終止符を打つのは今を生きる私たち政治家の使命であると、こう思っています。憲法に、我が国の独立と平和を守ること、そして自衛隊をしっかりと明記し、その責任を果たしていく決意であります。

そうした思いのもと、昨年の総選挙では初めて選挙公約の柱、主要項目の一つとして自衛隊の明記を具体的に掲げました。その上で、私たちは国民の信を得て、また、選挙に勝利をして、政権与党の立場にいるわけであります。

本年の党大会では、党の運動方針として公約に掲げた4項目の議論を重ね、憲法改正案を示し。憲法改正の実現を目指すという方針を決定したところであります。これに沿って意見集約に向けた党内論議が精力的に行われてきました。自民党というのは自由闊達な議論を行いますが、様々な意見が出ますが、一旦結論が出れば一致結束してその目標に向かって進んでいく、それが責任与党としての我々の責任感であり、矜

持でもあります。

私としては、これまでの議論の積み重ねの上に、自民党としての憲法改正案を速やかに国会に提出できるよう取りまとめを加速するべきであると考えております。その上で、9月に総裁選が行われますが、憲法改正は立党以来の党是であり、自民党としても長年の悲願でありますし、今、申し上げましたように、4項目を掲げ、我々はみんなで総選挙を戦ったわけであり、そして、それは、正に党としての公約であります。

当然、言われたように、候補者が誰になるにせよ、次の総裁選においては、当然、候補者が自分の考え方を披瀝する大きな争点となると考えます。憲法改正は、衆議院、参議院、両議院の3分の2で発議できる。3分の2を得ることができるかどうか、そして、国民投票において過半数の賛成を得なければ実現できません。政治は結果であります。つまり3分の2で発議できる、3分の2をえることができるかどうか、そして国民投票でそれを成立させることができるかどうか、地に足のついた、現実をしっかり目と目を向けながら、結果を出していく、そういう姿勢も私たちには求められている。先ほど申し上げました、今を生きる私たちの責任とは何かということ念頭に議論が行われるものと思います。

悪法ラッシュの終盤国会に怒り

市民と野党の共闘で安倍内閣退陣へ
【宮城県／県内九条の会連絡会など6団体】 「ウツつき内閣は総辞職せよ」一。

市民と野党の共闘の力で、安倍内閣の退陣を、と呼びかける集会在7月19日、仙台市で開かれました。200人の市民が参加し、「うそつき、でたらめ、もうたくさん」「道理が通る国会に」などと訴え一番町商店街をデモ行進しました。

県内九条の会連絡会、野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会、など6団体が主催。オールみやぎの会の草場裕之弁護士は「いまの状態が夜明け前の暗闇なのか、長く続くトンネルの入り口なのか、私たちの運動にかかっている」と強調。「戦争法を廃止する政権をつくる」という原点に立ち返って、市民と野党の共闘を進めようと訴えました。

社民党県連合の岸田清実県議、立憲民主党県連の鎌田さゆり幹事長、共産党のふなやま由美参院宮城選挙区候補がマイクを握り、国民民主党の桜井充参院議員からのメッセージが紹介されました。

県労連の高橋正行議長が「働き方改悪」の強行に抗議し、3000万署名推進センターみやぎの白石弘重さんが現状を報告し、行動をよびかけました。

安倍9条改憲阻止し米朝首脳会談援護

【青森県八戸市／戦争法廃止を求める三八連絡会】 八戸市の三日町交差点で19日、戦争法廃止、安倍9条改憲 NO を求めるスタンディングアピールがありました。

31人が「アベ政治を許さない」「憲法違反の戦争法は廃止」「憲法9条守れ」のポスターなどを掲げ、「安倍はやめろ」「安倍政権に終止符を」と市民へアピールしました。

主催した戦争法廃止を求める三八連絡会

の中屋敷泰一事務局長は、米朝首脳会談開催で朝鮮半島非核化の大きな一歩が刻まれたと強調。日本は憲法9条を生かした朝鮮半島と北東アジアの非核化、平和を実現する先頭に立つことが求められていると述べ、「そのために安倍首相が狙っている9条改憲を絶対にとめよう」と訴えました。

「今いちばんやらねばならないこと」

【福井県／福井総がかりアクション】

「『戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション』が、JR福井駅西口でアピールしました。

宮下正一事務局長らが「若者を戦場に送ったり、戦争で家族が傷つけられたりする、戦争する国づくりを許さないためにご協力を」と訴えました。

宣伝にたいし、「(みなさんは)今一番やらないといけないことをやってくれています」と言葉をかけてきて激励する男性がいました。また3000万人署名に応じた福井市内の高校に通う男子生徒(16)は「憲法『改正』はしない方がいい。一つでも多く署名が力になれば」と話しました。

全国一猛暑の岐阜県でもめげずに

【岐阜県中津川市／総がかり行動集会】

岐阜県中津川市で21日、6回目の『戦争させない・9条壊すな！中津川総がかり行動集会』(実行委員会主催)が炎天下で行われ、約120人が参加しました。

安保正弘さん(東労協議長)が代表あいさつで、米朝・南北首脳会談により非核化の動きが開始され、戦争法や9条改憲の必要性が問われていると指摘。「安倍政権打倒

の声を上げていこう」と述べました。

野党からは、社民党県連の森廣茂代表、共産党の木下律子市議、新社会党の佐原光司代表があいさつし、立憲民主党の山下八州夫代表がメッセージを寄せました。

【多治見市／パレード実行委員会】多治見市で、猛暑の中、「戦争法廃止19アクション」が行われ、約30人が参加しました。主催は、どもならんNO！安倍政権！パレード実行委員会。

JR多治見駅前の交差点に「9条守れ」「戦争あかん」のパネルを掲げ、3000万人署名をよびかけ、9条守れのポケットティッシュを配布。「日本一暑い多治見市から全国に熱い声を届けよう」、「野党は共闘、市民も共闘！」とコールしました。

宮地純二事務局長らがリレートーク。「日本一暑い多治見市で小中学校にクーラー設置が一つもない。一刻も早く設置を。ウソつき内閣は今すぐやめろ」と訴えました。

【岐阜市／島中学校区・早田九条の会】

「島中学校区」と「早田」の2つの9条の会が「平和について考えるつどい」をこのほど開き、15人が参加しました。

主催者代表の田中良さんが「最悪の安倍首相を早く辞めさせるにはどうしたらいいか一緒に考えよう」とあいさつしました。

岐阜大学の近藤真名誉教授(65)が「憲法9条に自衛隊を書き込むと、そんなに怖いことになるの？」と題して講演。近藤氏は、4月に岐阜大学で行った9条の賛否を問うアンケートで「9条守れ」が74%だった一方、自衛隊明記の加憲論に「賛成」36%、「反対」14%、「わからない」36%、「無回答」14%だったと紹介。「迷っている人に9

条改憲の本質を知らせ、改憲反対派が多数となるよう宣伝しよう」と呼びかけました。

豪雨災害のなか宴会—安倍首相を批判

【高知県／憲法アクション】 高知憲法アクションは19日、高知市の中央公園北口で集会を開き、約50人が参加して安倍内閣の退陣などを求めました。

高知大学の岡田健一郎准教授が基調報告し、北朝鮮問題で政府がアメリカの後追いしかできていないことなどを指摘、一方で憲法改悪の動きが少しずつ進んでいることに注意を喚起し「3000万人署名で対話を進めよう」と呼びかけました。

県平和運動センターの山崎秀一顧問が沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設阻止のたかひに連帯して問題提起し、「政府が埋め立てを強行して反対運動をあきらめさせようとしているが、あきらめるはずがない」とのべ、民主主義を守るために、辺野古の海に基地はつくらせない世論を広げよう」と訴えました。

県労連の畑山佳代副委員長が「豪雨災害への警戒が呼びかけられる中で、宴会をしていた安倍首相は許せない」と批判。

参加者は帯屋町商店街をデモ行進してアピールしました。

安倍首相のウソは民主主義を破壊

【名古屋市中区／共同行動実行委員会】 名古屋市中区で、共同行動実行委員会が「安倍9条改憲ダメ！7・19集会・デモ」を開きました。猛暑の中、市民ら500人が参加し、「安倍やめろ」のボードを掲げました。共同代表の長峯信彦愛知大学教授は「西

日本豪雨の被災地支援を最優先にすべき時、悪法を次々と強行する安倍政権は許せない。国民の声を聞かない安倍政権をみんなの運動で変えよう」と訴えました。

平井宏和弁護士が「刑法が禁じる賭博を解禁するカジノ実施法案の強行は許せない」と強調。中谷雄二弁護士は「安倍政権はウソにウソを塗り固め、政治を私物化し強権政治を続けている。安倍政権打倒の声を大きくあげていこう」と呼びかけました。

集会後、参加者は「大嘘つき安倍は退陣」「民主主義があぶない」の横断幕を掲げ、繁華街を行進。大汗を流しながら「原発再稼働反対」とコールしていた女性(57)は「大学の同窓生が福島に住んでいる。今も福島原発の放射能に怯えている。原発は必要ない」と話しました。

菊川9条の会もがんばっています

【静岡県菊川市／菊川市憲法9条の会】

* 3000万署名は続いています。全国の署名は1350万人を超えました。今頃は1400万人を超えているでしょう。改憲阻止まで署名はずっとつづきます。次の集約は9月だそうです。がんばりましょう。

* 菊川でも署名をつづけています。ご協力を！

私たちの会員のYさんが、青葉台を中心に1軒1軒たずねて署名を集めて下さっています。その中間報告です。署名をしてくれたひと64人。断ったひと11人。この11人は全体の15%です。これが菊川の改憲派の割合に近いのではないのでしょうか。

(「菊川市憲法9条の会通信 リンゴの樹」18・7・20 26号)